

令和3年度

事業計画書

社会福祉法人御前崎市社会福祉協議会

1. 背景

日本の人口の 28%超が 65 歳以上の高齢者となり、今後も「少子高齢化と人口減少社会」の増加は進行していきます。また、産業構造の変化により非正規労働者が増加する中、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化と核家族化の進行により、家庭内の扶養や地域での相互扶助が低下したことから、高齢者の孤独死、地域からの孤立、子育てに悩む保護者の孤立、児童や高齢者、障がい者に対する虐待や自殺者の増加などの他、ひきこもり状態の長期化や子育てと介護のダブルケアの問題など、新たな問題も多く発生しています。

近年、地域の絆の大切さが再認識され、地域コミュニティを重視する意識が高まるなど、日常から顔の見える関係づくりが求められています。このような状況の中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、福祉制度によるサービスだけでなく、地域での人と人とのつながりを大切に、お互いに助け、助けられる相互の関係づくりが必要です。

このような中、地域の中で行われている活動をさらに充実させるとともに、行政、支部社協、地域住民、町内会、ボランティア団体等と協働し、子どもから高齢者まですべての人々が支え合い、皆が「しあわせ」を感じ、皆が「安心して暮らせる地域社会」づくりを進めていきます。

2. 基本方針

御前崎市では、2025 年度までの 10 年間「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」を将来像とし、その実現のための人口減少に歯止めをかける基本目標を設定した「第 2 次御前崎市総合計画」により、まちづくりに取り組んでいます。

令和 3 年度からスタートする、「第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、「第 3 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の ” お互いに支え合い、みんながしあわせ と感じる地域(まち) という視点を引き継ぎ地域福祉の推進に努めてまいります。

昨今の各家庭が抱える複合的な問題を解決していくため、本会の運営根拠である社会福祉法も平成 30 年に改正されました。これにより、地域で様々な問題を解決、支援する体制を整備していくことが地域福祉推進の一つの方向性として示されました。本会においてもこの方向性に沿った取り組みを進めてまいります。

加えて、地域福祉の充実には地域の支え合いや担い手の育成などこれまで本会が培ってきたものも不可欠です。

令和 3 年度も従来の取り組みを踏まえ、発展させながら「包括的な支援体制の整備」を地域住民と行政等との協働により進めてまいります。

3. 計画の体系

[基本理念]

[基本目標]

[施策の方向性]

[取り組みの方向性]



4 実施事業

基本目標1 お互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり (★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	R3目標
(1) 市民が主役になる小地域福祉活動の推進・支援	①身近な地域での交流活動の推進	ささえあいサポーター事業	事業の周知を徹底し、支援を必要とする方の登録登録利用者数 80人
		(★)小地域福祉活動助成事業	事業を周知し、助成をすることで地域のボランティア活動を強化
		小地域福祉活動(居場所・サロン・生活支援サービスなど)の推進	活動しているところに出向き、問題点や課題を聞くことで継続、更なる活動ができるよう支援
	②市社協の基盤強化及び支部社協活動の充実	自主財源の検討	既存事業の充実検討及び新規事業の検討
		(★)支部社協事業の推進	各支部社協が主体となって地域課題を解決することができるように後方支援
		社協一般会員の募集	若い世代への呼びかけ、班外世帯への周知をするため、児童館利用者、各種会合へ出向きPR
		社協特別会員の募集	職員一丸となって企業訪問し、特別会費の必要性、用途を理解してもらい、新会員の増加
	③住民ニーズの把握・対応の充実	福祉懇談会の開催	各支部社協で1回以上開催。また、市民主体の懇談会の開催検討
		支部社協事業など、地域活動への社協職員の参加	支部事業等へ参加することの目的意識を持ち、住民が抱えるニーズや問題の把握
	(2) 福祉関係団体(福祉団体・当事者団体・ボランティア団体)への支援	①地域における支え合いの仕組みの充実	福祉団体連絡会の開催
(★)福祉関係団体への協力支援			各福祉団体が目的達成及び課題解決を主体的に実施できるよう、平時から連携を密にし、事務局として支援
②福祉関係団体の抱える課題の把握及び支援		社会福祉法人等による公益事業に向けての情報交換会の開催	1回開催
③福祉関係団体と市民・学校・福祉施設などとの連携・協働の支援		関係機関とのネットワークづくり	事業検討
		地域福祉教育担当者連絡会	1回以上開催
(3) 災害時等の支援や防犯体制の強化	①防災・防犯活動への支援	社協災害対策本部の設置	設置訓練を実施
		災害ボランティア本部立上げ訓練	総合防災訓練の1つに組み込み実施
	②災害ボランティア本部の体制強化	災害ボランティアコーディネーター養成講座	災害ボランティアコーディネーター登録者数 45人
		総合防災訓練及び地域防災訓練などへの参加	市危機管理課、方面隊及び自主防災会と連携し参加
		行政・災害支援ネットワーク・社協連携連絡会	年2回開催
		災害ボランティアコーディネーター連絡会	年2回開催

基本目標 2 市民一人ひとりが積極的に地域福祉に参加するまちづくり (★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	R3目標
(1) 支え合う心を育むための地域福祉教育の推進・支援	①地域における学び場づくり	(★)地域福祉教育出前講座	2回実施
		中学生・高校生夏休みボランティア体験活動	コロナ禍を考慮した事業の実施
	②地域や学校での地域福祉教育の充実	地域福祉教育の展開	事業検討
		(★)地域福祉教育指定校事業	市内小中高へ助成
(2) 多くの市民の地域福祉活動への参加の促進	①ボランティア活動・市民活動への支援	ボランティアコーディネーター事業	事業内容の周知及び啓蒙
		個人ボランティア登録制度の推進	個人ボランティア登録者 75人
		ファミリー・サポート・センター事業	継続実施
		講習会	事業実施要綱に基き、数日に分け、年に1度提供会員養成講習会の実施
		ファミサポPR	2カ月健診時(毎月1回)
		交流会	年1回実施
	②ボランティア活動・市民活動への参加のきっかけづくり	ファミサポ通信の発行	ファミサポだより年2回発行(夏・冬)
		ボランティア活動に対する情報発信	社協ボランティア登録者数 75人
		ふれあい広場	コロナ禍を考慮した事業の実施(10/23土)
		精神障がいを抱える方を支えるボランティア養成講座(ぽかぽか交流会)	養成講座受講者 10人
		赤い羽根共同募金運動への協力	継続実施
		一般募金	募金額 4,000,000円
		歳末たすけあい募金	募金額 2,000,000円
		ボランティア団体助成事業	申請団体2団体以上
		日赤御前崎市地区事業の推進	継続実施
		一般社費の募集	日赤奉仕団員の訪問、前年度額維持
		高額社費の募集	日赤奉仕団員の訪問、前年度額維持
		日赤有功会御前崎市会の推進	赤十字関係機関(団体)への協力と連携
		青少年赤十字の推進	献血PR(年2回)、災害救助募金活動
		(3) 地域福祉を身近に感じるための啓発活動の推進	①福祉講座・福祉啓発事業の充実
御前崎市戦没者追悼式	令和3年8月15日(日) 御前崎市市民会館で実施予定		
②地域福祉に関する情報発信の充実	「おまえざき社協だよりの発行」		設置場所数 27か所
	ホームページやSNSによる情報発信		レンタルサーバを変更し、ホームページをWordPressで構築

基本目標3 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり (★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	R3目標
(1) 困った時に気軽に相談できる包括的な相談支援体制の充実	①市民にわかりやすく、気軽に相談できる窓口の充実	福祉総合相談所の開設	相談所の開設
		弁護士司法書士心配ごと相談	市民が抱えている問題解決の支援 市外の方の対応検討
		ひきこもり・不登校支援相談室	継続実施
		ひきこもり・不登校支援検討会	年1回開催
		ひきこもり家族教室・相談会	年1回開催
	②関係機関同士の連携を深める体制の強化	包括的な相談窓口支援体制の充実	現状分析
		生活支援コーディネーター事業	継続実施
		第1層協議体生活支援コーディネーター	継続実施
		第2層協議体生活支援コーディネーター	継続実施
	③生活困窮世帯の支援体制の充実	生活困窮者自立支援事業	継続実施
		自立支援相談事業	事業の周知
		家計相談事業	事業の周知
		生活福祉資金貸付事業	継続実施
		小口資金貸付事業	継続実施
	④権利擁護の推進	法人後見事業	事業の周知
		日常生活自立支援事業	事業の周知
市民後見人養成講座を修了した方への支援		市民後見人名簿登録者数 4人	
(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる仕組みづくり	①自立を支える福祉サービスの充実	介護予防・日常生活支援総合事業	継続実施
		自立支援通所サービス(ひなたぼっこ)	平均利用者数 50人
		自立支援訪問サービス	事業内容のあり方を検討
		子育て支援員派遣事業 ※新規事業	事業の周知
	放課後児童クラブの運営	支援員の確保に努め適切かつ安全な運営	
	②誰もが暮らしやすい環境づくり	浜岡中央児童館・児童図書館事業	継続実施
		パラカンコげきじょう	実施目標5回/年、延べ人数目標400人/年 仲間づくり、地域交流、食育、ボランティア体験等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施人数の制限を検討
		みーんなあつまれ	実施目標12回/年、延べ人数目標540人/年 季節行事、3世代交流、食育等の場づくり 地域資源の活用した経費削減及び十分なコロナ対策、実施人数の制限と内容を検討

施策の方向性	主な取組み	事業内容	R3目標
(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる仕組みづくり	②誰もが暮らしやすい環境づくり	浜岡中央児童館・児童図書館事業	継続実施
		わくわくクラブ(会員制)	実施目標11回/年、会員目標50人 仲間づくり、地域交流、食育、ボランティア体験等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施人数の制限を検討
		一輪車クラブ(会員制)	実施目標 指導11回/年、演技発表3回/年、会員目標15人 仲間づくり、体力づくり等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		おはなしこんにちは	実施目標 2日(午前1回、午後1回)/週、15人/回 親子のふれあい、情緒面での発育促進、読み聞かせ習慣の定着等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		図書・DVDの貸出	実施目標 5日/週 親子読書の推進、幼児期からの読書週間の定着、DVDによる映像を通じた親子のふれあいの促進
		ハッピーキッズ (身体測定・赤ちゃん体操・子育て相談・茶話会)	実施目標 12回/年、13人/回 子育て相談、計測、保護者のリフレッシュ、友達づくりの場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		(★)高齢者生きがい教室	実施目標 教室数5、8-10人/1教室、8-10回/年 福祉会館の有効利用、仲間づくり、閉じこもり予防、趣味が継続できる場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		高齢者生きがいクラブ	実施目標 クラブ数25クラブ、5-20人/1クラブ、12-24回/年 福祉会館の有効利用、仲間づくり、閉じこもり予防、新しい趣味の場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		介護機器貸与事業	該当者に事業を周知及び利用促進
		福祉車両貸出事業	該当者に事業を周知及び利用促進
		はりきゅうマッサージ助成事業	該当者に事業を周知及び利用促進
		理美容料金助成事業	該当者に事業を周知及び利用促進
		(★)障がい者余暇活動支援	活動内容を見直すとともに、いずれの活動でも5組以上の参加を予定
(★)歳末たすけあい事業	現行の見舞金配布も含めた事業の見直し		
(★)ひとり親家庭入学激励金事業	事業検討		